

令和6年度科学研究費助成事業「学術変革領域研究（A）」に係る中間評価結果

領域番号	21A102	領域略称名	水共生学
研究領域名	ゆらぎの場としての水循環システムの動態的解明による水共生学の創生		
領域代表者名 (所属等)	荒谷 邦雄 (九州大学・比較社会文化研究院・教授)		

(評価結果)

Aー (研究領域の設定目的に照らして、概ね期待どおりの進展が認められるが、一部に遅れが認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域では、個々の計画研究や計画研究間の融合研究等は進捗しており、水というヒトにとって不可欠な対象について、体系的に取扱う道筋を教育実践まで含めて示したことは評価でき、九州大学大学院での水共生学コースの設置は大きな成果である。

一方、揺らぎの場からの水共生学をどのように組み上げていくのかの道筋が、現時点でもなお明瞭に見えてこない。研究領域全体としての連携がまだ不十分で、今後グループ間の更なるまとまりが期待される。研究グループ相互のブリーフィング、議論の共有をより一層進められたい。

地球圏、人間圏、生物圏間の課題の解決はしばしばトレード・オフの関係にあり、どれを重視するのかを一つの尺度で判断することは困難である。その解決のためには単に総合指標を示すだけではなく、民主的な手続、政治的な解決プロセスと接合を可能にするなどの道筋を示し、水をめぐる国際政治あるいは国際経済的な分析と研究成果の世界への発信にも心がけていただきたい。本研究領域の研究期間終了時には、単なる人間活動の水環境への影響を限定せずに、「ゆらぎ」の把握からどのように水共生学が構築されるかの提示が期待される。